

日本地質学会第120年学術大会（2013 仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月15日（日）午前

会場	マルチメディアホール	会場1 (B200)	会場2 (C200)
	R6. ジオパーク	R14. 沈み込み帯・陸上付加体	R4. 変成岩とテクトニクス
	座長：渡辺真人 (1-3)，天野一男 (4-7)，高木秀雄 (8-11)	座長：坂口有人 (1-6)，橋本善孝 (7-11)	座長：足立達朗 (1-4)，遠藤俊祐 (5-7)，河上哲生 (8-11)，曾田祐介 (12-15)，桑谷立 (16-19)，岡本敦 (20-24)
8:45	8:45 R6-O-1 (招待) ジオパークと研究者の持続的な関係. 柴田伊廣	8:45 R14-O-1 ピナツボマントルかんらん岩中の角閃石の微量元素組成に記録された火山フロント下マントルウェッジでの交代作用. 芳川雅子・川本竜彦・荒井章司・田村明弘・小林哲夫	8:45 R4-O-1 東南極セール・ロンダーネ山地, 小指尾根の変成岩中のZr-Ti含有鉱物. 志村俊昭・石川真帆・大和田正明・川壽智佑・亀井淳志・東田和弘・柚原雅樹
	9:15 R6-O-2 ジオパーク活動における科学者の立場と役割. 廣瀬 亘	9:00 R14-O-2 (招待)★ 沈み込みプレート境界での流体移動とスロー地震. 片山郁夫	9:00 R4-O-2 東南極セールロンダーネ山地における左ずれトランスプレッション前後の引張テクトニクス. 豊島剛志・小山内康人・馬場壮太郎・外田智千・中野伸彦・足立達朗・大坪 誠・石川正弘・野木義人
	9:30 R6-O-3 地質遺産, 地域資源を活用したジオツアーの実践. 森野善広・谷脇智和	9:30 R14-O-3 四万十帯についての2, 3の事柄: 巨大地震, 付加 vs 浸食, 海嶺沈み込み. 木村 学・橋本善孝・山口飛鳥・北村有迅	9:15 R4-O-3★ 中部ベトナムに分布する高度変成岩体の古生代～中生代初期のテクトニクス. 中野伸彦・小山内康人・大和田正明・Punya Charusiri・Keo Khamphavong・外田智千
	9:45 R6-O-4 ジオパークガイド育成・認証・支援の取り組み. 糸魚川世界ジオパークの例. 竹之内 耕・宮島 宏・茨木洋介	9:45 R14-O-4 低速～高速域における付加体玄武岩の摩擦特性. 斎藤 翼・氏家恒太郎・堤 昭人	9:30 R4-O-4 モンゴル中～西部における変成岩地体の形成テクトニクス. 小山内康人・中野伸彦・足立達朗・吉本 紋・大和田正明・Satisu-Kumar Madusudan・米村和紘・Jargalan Sreenen・Boldbaatar C
	10:00 R6-O-5 山陰海岸ジオパークにおける生涯学習とジオガイドの継続教育 (Geo-CPD). 先山 徹・松原典孝	10:00 R14-O-5 高間隙水圧下で活動した剪断脈: 四国白亜系四万十帯横浪マランジュ. 橋本善孝・栄田美緒	9:45 R4-O-5 四国久万層群およびひわだ峠層中の結晶片岩礫の放射年代. 高木秀雄・飯塚亮太・岩野英樹・檀原 徹
	10:15 R6-O-6 ジオパークにおける住民参加型散策コース策定の効果と課題－山陰海岸ジオパークの例－. 松原典孝・先山 徹	10:15 R14-O-6 四万十付加体中の延岡衝上断層を貫くボーリングコアのイライトと緑泥石の変化. 福地里菜・藤本光一郎・亀田 純・木村学・山口飛鳥・濱橋真理・北村有迅・濱田洋平・橋本善孝・斎藤実篤	10:00 R4-O-6 南インドの局所的にチャルノックイト化した黒雲母-ザクロ石片麻岩中の「珪長岩包有物」. 廣井美邦・加藤陸実・Satisu-Kumar Madhusoodhan・Dunkley Daniel J.
	10:30 R6-O-7 洞爺湖有珠山ジオパークにおける, 小学校見学旅行を対象とした野外学習テキストの作成. 横山 光・中谷麻美・広田達郎	10:30 R14-O-7 条線を伴う断層面の光沢とナノ粒子・ラフネス～巨大分岐断層のアナログとしての延岡衝上断層の例. 北村有迅・木村学・亀田 純・山口飛鳥・瀬瀬佑衣・浜橋真理・福地里菜・濱田洋平・藤本光一郎・橋本善孝・斎藤実篤・川崎令詞・高下裕章・清水麻由子・藤井岳直	10:30 R4-O-7 旭川地域に分布する神居古潭変成岩についての2つの新知見: テクトニクスの再構築に向けて. 竹下 徹・岡本あゆみ・中山貴仁・岩野英樹・檀原 徹・平田岳史
	10:45 R6-O-8 南紀熊野ジオパーク構想の地質学的視点. 鈴木博之	10:45 R14-O-8 シュードタキライトの3次元構造解析. 濱田洋平・木村学・亀田 純・山口飛鳥・浜橋真理・福地里菜・北村有迅・川崎令詞・岡本伸也	10:45 R4-O-8 北海道神居古潭帯幌加内地域に分布する角閃岩ブロックの変成温度-圧力履歴とその意味. 岡本あゆみ・竹下 徹・合地信生
	11:00 R6-O-9 南三陸海岸地域 (南三陸町～石巻市) のジオ資源の特長. 永広昌之・南三陸海岸ジオパーク準備委員会	11:00 R14-O-9 断層におけるビトリナイト反射率異常の成因. 古市裕之・氏家恒太郎・斎藤 翼・坂口有人・堤 昭人	11:00 R4-O-9 高圧・超高压変成岩のフェンジャイト年代学. 板谷徹丸
	11:15 R6-O-10 「津波」を伝える－三陸ジオパーク構想－. 橋本智雄・伊藤太久・斎 宏行	11:15 R14-O-10 半値幅を用いた炭質物ラマン地質温度計の開発と先行研究との性能比較. 瀬瀬佑衣・水上知行・森 宏・遠藤俊祐・青矢睦月・原 英俊・中村大輔・ウォリス サイモン	11:15 R4-O-10 領家変成岩のSHRIMPによるジルコンU-Pb年代. 中島 隆・堀江憲路・足立達朗・宮崎一博・Dunkley Daniel, J.・外田智千
	11:30 R6-O-11 関東ジオパーク連合の提案. 天野一男		11:30 R4-O-11 Neoproterozoic reworking of Archean deep continental crust in the Coorg Massif, India: SHRIMP zircon and EMP monazite geochronology and implication on Dharwar craton margin orogenesis during the assembly of Gondwana. Das Kaushik・木村光佑・Bose Sankar・早坂康隆・日高 洋

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R) のそれぞれに, 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします. 太字は代表発表者です. ※★印は, ハイライトです, 本誌 p. (11) を参照.

日本地質学会第120年学術大会（2013仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月15日（日）午前

会場	会場3 (B201)
	R19. 環境地質
	座長：田村嘉之（6-9），風岡 修（10-12），上砂正一（13-16）
8：45	9：00 R19-O-6 レアメタル鉱床としての廃棄物最終処分場埋立層の評価。 香村一夫 ・大森雅史・若林恭子・小山研也・高田康平・伊藤貴宏・奥野愛実・桜間俊典・田中宏和
	9：15 R19-O-7 新潟平野の古典型ツツガムシ病－有毒地の土地条件に関して－。 仲川隆夫
	9：30 R19-O-8 関東地下水盆地の自治体間の協体制と最近の地下水位図。 古野邦雄 ・香川 淳・楠田 隆・楡井 久
	9：45 R19-O-9 千葉県九十九里地域・上総層群からの天然ガス発生量の連続観測と2011年東北地方太平洋沖地震の影響。 香川 淳 ・古野邦雄
	10：00 R19-O-10 福島第一原発事故により関東地方へ降下した放射性物質の土壌内挙動に関する検討。 田中 新 ・宗田和希・香村一夫
	10：15 R19-O-11★ 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い放出された放射性セシウムの山地森林における移動挙動。 新里忠史 ・阿部寛信・渡辺貴善・安江健一・佐藤治夫
	10：30 R19-O-12 液状化発生地での地表観測地震波形と地中観測地震波形－地表地震計（K-NET CHB024）と地中地震計（INAG34）（GL-34m）観測データから－。 酒井 豊 ・亀山 瞬・加藤晶子・楠田 隆
	10：45 R19-O-13 液流動化地における連続貫入試験の実施例。 木村英人
	11：00 R19-O-14 東京湾岸埋立地千葉市美浜区稲毛海浜公園における人工地層の層序と2011年東北地方太平洋沖地震による液状化-流動化層準。 風岡 修 ・佐藤光男・野崎真司・森崎正昭・吉田 剛・堀井義久・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・酒井 豊・木村満男・岡部隆男
	11：15 R19-O-15★ 「地盤スクリーニング」による地震・地盤災害に関する リスクコミュニケーション。 横山芳春 ・中村裕昭
	11：30 R19-O-16 「地波がさきか？液状化がさきか？＝鶏がさきか？卵がさきか？」。 楡井 久 ・高島英世・檜山知代・宇澤政晃・木村和也

会場	会場4 (B203)
	T4. 海溝での生物と巨大地震
	座長：伊藤喜宏（1-3），新井和乃（4-6），宇佐見和子（7-9），辻 健（10）
8：45	8：45 T4-O-1 日本海溝に巨大海底地すべりがあるとしたら，どのように調査したら良いか？ 川村喜一郎 ・金松敏也・小平秀一・中村恭之・笠谷貴史・豊福高志・小栗一将・仁田彩・藤井美南・古賀 源・中嶋 新・濱田 毬・和田彩花
9：00	9：00 T4-O-2 海底調査と地震探査から明らかになってきた東北地方太平洋沖地震で生じた地殻応力の変動。 辻 健 ・今野祐多・布浦拓郎・高井 研・土岐知弘・笠谷貴史・木下正高
9：15	9：15 T4-O-3★ 東北地方太平洋沖地震・津波により発生した混濁流のダイナミクス。 新井和乃 ・成瀬 元・川村喜一郎・入野智久・池原 研・齋藤 有・村山雅史・三浦 亮・日野亮太・伊藤喜宏・稲津大祐・横川美和・泉 典洋
9：30	9：30 T4-O-4 2011年東北地方太平洋沖地震後に東北沖で採取された表層堆積物の特徴。 藤井美南 ・豊福高志・小栗一将・金松敏也・中島 礼
9：45	9：45 T4-O-5★ 底生有孔虫からみた，2011年東北地方太平洋沖地震の海底における地震性/津波堆積物の起源と堆積過程。 宇佐見和子 ・池原 研・ジェンキンス ロバート・芦 寿一郎
10：00	10：00 T4-O-6 (招待)★ 2011年東北地方太平洋沖地震が深海生態系に及ぼした影響。 野牧秀隆 ・新井和乃・布浦拓郎・豊福高志・渡邊修一・高井 研・藤倉克則
10：30	10：30 T4-O-7★ 東日本大震災後の宮城県仙台沖水深1000 mまでの海底地形と地質構造。 仁田 彩 ・笠谷貴史
10：45	10：45 T4-O-8 (招待)★ 東北沖で得られた新しい観測事例。 笠谷貴史
11：15	11：15 T4-O-9★ 孔内検層により推定されるプレート境界断層の特徴と地質過程。 斎藤実篤
11：30	11：30 T4-O-10 冷湧水域下で発生した日本海溝スロースリップと2011年東北地方太平洋沖地震。 伊藤喜宏

会場	会場5 (B204)
	T2. 物質科学・比較惑星地質学から解説する太陽系と地球の進化史
	座長：尾上哲治（1-4），後藤和久（5-9）
9：00	9：00 T2-O-1 (招待)★ 生物大量絶滅を引き起こした環境変動：地球化学からの制約。 丸岡照幸
9：30	9：30 T2-O-2 K/Pg 境界における天体衝突クレーター中の衝撃変成石英分析に基づくイジェクタの堆積過程制約。 常 昱 ・後藤和久・関根康人・田近英一
9：45	9：45 T2-O-3 トリアス紀・ジュラ紀深海堆積物中に保存された白金族元素濃度異常。 藤崎 渉 ・澤木佑介・山本伸次・横山哲也・丸山茂徳
10：00	10：00 T2-O-4 層状チャートと湖成層の堆積リズムに記録された太陽系惑星運動と，その表層環境への影響。 池田昌之 ・多田隆治・Olsen Paul
10：15	10：15 T2-O-5 遠洋性堆積岩中の白金族元素（PGE）組成にもとづく三疊紀新世衝突隕石の起源とサイズの推定。 佐藤峰南 ・白井直樹・海老原 充・野崎達生・鈴木勝彦・尾上哲治
10：30	10：30 T2-O-6 三疊紀新世の隕石衝突層準における堆積相および放散虫群集組成の垂直変化。 尾上哲治 ・佐藤峰南・野崎達生・白井直樹・海老原 充・鈴木勝彦
10：45	10：45 T2-O-7 白金族元素濃度測定に基づいた遠洋性堆積物中の宇宙起源物質の検出。 浅沼 尚 ・藤崎 渉・澤木佑介・横山哲也・丸山茂徳
11：00	11：00 T2-O-8 後期衝突物質の付加と均質化のタイミング－初期太古代超苦鉄質岩類の強親鉄性元素組成からの制約－。 石川 晃 ・下條将徳・鈴木勝彦・Collerson Kenneth D.・小宮 剛
11：15	11：15 T2-O-9 (招待)★ 惑星における地球科学，地球における惑星科学：エンセラダス・ブリュームとインド・ロナクレーター。 関根康人

※講演番号は，シンポジウム（S），トピックセッション（T），レギュラーセッション（R）のそれぞれに，口頭（O）の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は，ハイライトです，本誌 p. (11) を参照。

■ 9月15日（日）午前

会場	会場7 (B104)	
	R12. 石油・石炭地質学と有機地球化学	
	座長：金子信行（1-4），河村知徳（5-7），三瓶良和（8-10）	
8：45	8：45 イラクの衛星画像解析と石油探鉱への応用。 巧 9：00 北海道勇払油・ガス田および周辺坑井における“滝の上層”の フィッション・トラック年代。 9：15 北海道 馬追丘陵における褶曲・衝上断層帯の地殻構造。 9：30 ¹⁴ Cによる北海道上幌延町松尾沢泥火山の噴出年代測定。 9：45 多孔質砂岩中の葉理面がCO ₂ の流動特性に与える影響。 10：00 日本におけるシェールオイルポテンシャル～女川層タイトオイル プロジェクト。 10：30 宮崎・日南・日向層群の有機物濃度と有機熟成度。 10：45 統合深海掘削計画第338次航海において掘削された熊野海盆に 位置するC0002孔における炭化水素の起源。 11：00 海底下の炭素循環と生命活動：下北八戸沖石炭層生命圏掘削調 査（IODP第337次研究航海）の成果概要。 11：30 関東平野地下における天然ガスの賦存状況－メタンガスの有無 と泉質との関係－。	R12-O-1 光原奈美 ・大沼 巧 R12-O-2 加藤 進 ・佐藤雅紀 R12-O-3 河村知徳 R12-O-4 中田 英二 ・佐々木俊法・門叶冬樹・加藤和浩 R12-O-5 北村 圭吾・辻 健・千代延 俊 R12-O-6 (招待) ★ 横井 悟 R12-O-7 三瓶良 和 ・加地祐一郎 R12-O-8 土岐知弘 ・益田 晴恵・ハンマーシュミッド セバスチャン・ラシッド ハルスール・ IODP第338次航海乗船研究者一同 R12-O-9 (招待) ★ 稲垣史生 R12-O-10 金子信行 ・佐脇貴幸

■ MEMO ■

■ MEMO ■

日本地質学会第120年学術大会（2013仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月15日（日）午後

会場	萩ホール	マルチメディアホール	会場1 (B200)
	S1. 東日本大震災：あの時、今、これから	R23. 地球史	R14. 沈み込み帯・陸上付加体
	座長：西 弘嗣 (1-4), 井龍康文 (5-7)	座長：澤木佑介 (1-4), 田畑美幸 (5-9), 山口耕生 (10-13)	座長：山口飛鳥 (12-17), 氏家恒太郎 (18-24)
14:30	14:30 趣旨説明. 井龍康文	14:30 R23-O-1 (招待) ★ 熱水循環システムの時空間スケール. 石橋純一郎	14:30 R14-O-12 (招待) ★ 海溝域巨大地震震性すべりの実態解明に向けて. 小平秀一・中村恭之・三浦誠一・金松敏也・笠谷貴史・藤江 剛・尾鼻浩一郎・山本揚二郎・富士原敏也
	14:35 S1-O-1 (招待) 2011年東北地方太平洋沖地震の実像に迫る. 日野亮太	15:00 R23-O-2 太古代の海底直上の堆積物：32億年前オーストラリア, デキソニアアイランド層の例. 清川昌一	15:00 R14-O-13★ 日本海溝プレート境界断層物質の高速摩擦特性と浅部地震震性すべり. 氏家恒太郎・田中英恵・斎藤 翼・堤 昭人・Mori James・亀田 純・Chester Frederick・江口暢久・Toczko Sean・IODP第343次航海乗船研究者一同
	15:00 S1-O-2 (招待) 巨大津波の来襲と避難行動. 今村文彦	15:15 R23-O-3 32億年前デキソニアアイランド層における熱水脈の産状とその岩相. 相原悠平・清川昌一・高下将一郎・坂本 亮・伊藤 孝・池原 実	15:15 R14-O-14 JFAST掘削のコア試料を用いた非弾性ひずみ回復による応力測定結果の速報. 林 為人・山本裕二・多田井修・谷川 亘・廣瀬文洋・IODP第343次研究航海乗船研究者一同
	15:25 S1-O-3 (招待) 東北マリンサイエンス拠点形成事業とこれまでの成果について. 木島明博	15:30 R23-O-4 32-31億年前の海底環境復元：DXCL掘削コア中の微小球殻状黄鉄鉱におけるNanoSIMSを用いた局所硫黄同位体分析. 三木 翼・清川昌一・高畑直人・石田章純・伊藤 孝・池原 実・山口耕生・坂本 亮・佐野有司	15:15 R14-O-15 JFAST掘削コア試料の微量元素組成. 石川剛志・松岡 淳・Mori James・Chester Frederick・江口暢久・Toczko Sean・Expedition 343 乗船研究者一同
	15:50 S1-O-4 (招待) 先端海洋調査機器を用いた沿岸域のガレキ分布調査に関する成果. 秋元和實	15:45 R23-O-5 約32億年前の海洋環境 ～南アフリカ・パーバートン帯のマペベ層およびムサウリ層のBIFのREE組成からの制約～. 矢作 智隆・山口耕生・原口 悟・佐野良太・寺司周平・清川昌一・池原 実・伊藤 孝	15:30 R14-O-16 日本海溝における沈み込み堆積物の脱水過程. 清水麻由子・亀田 純・濱田洋平・木村 学
	16:15 休憩	16:00 R23-O-6 約27億年前の陸上掘削黒色頁岩中の鉄の地球化学からみた海洋の成層構造と大気について. 阿部 茜・山口耕生	16:00 R14-O-17 東北地方太平洋沖地震の震源環境条件における藍閃石片岩の摩擦特性. 澤井みち代・高橋美紀・廣瀬文洋
	16:20 S1-O-5 (招待) 2011年東北地方太平洋沖地震後の地殻活動について. 松澤 暢	16:15 R23-O-7★ つば状突起（フランジ）を有する太古代アクリタークは初期の真核生物か？ 杉谷健一郎	16:15 R14-O-18 遠洋性珪質堆積物が作る弱いプレート境界断層. 山口飛鳥・濱田洋平・谷川 亘・比名祥子・亀田 純・氏家恒太郎・木村 学
	16:45 S1-O-6 (招待) 活断層研究と評価の現状と諸課題. 今泉俊文	16:30 R23-O-8 初期地球の熱水変成作用と海洋組成：初期生命出現環境. 小宮 剛	16:30 R14-O-19 斗賀野ユニットのボーリングコアから考察する南部秩父帯形成史. 大野佳緒里・久田健一郎・木村克己
	17:10 S1-O-7 (招待) 東日本大震災：科学者と社会への一視点. 島崎邦彦	16:45 R23-O-9 ~1450 Ma volcanic event from three aerially separated basins in Eastern India: Implication of volcanic arc magmatism at the East Indian cratonic margin. Das Kaushik・Chakraborty Partha Pratim・早坂康隆・Saha Subhojit・木村光佑・鹿山雅裕	16:45 R14-O-20 タイ王国北部に見いだされたチャート-泥質岩シーケンスの地質学的意義. 後藤和樹・鎌田祥仁・上野勝美・宮東 照・Apsprn Sardud・Charoentitirat Thasinee
	17:35 総合討論 (25分)	17:00 R23-O-10 エディアカラ紀後期、カンブリア紀初期の酸化的海洋. 澤木佑介・野崎達生・仙田量子・鈴木勝彦・小宮 剛	17:00 R14-O-21 速報：コスタリカ地震発生帯掘削計画. 坂口有人・Harris Robert・Vannucchi Paola・氏家恒太郎
		17:15 R23-O-11 南中国エディアカラ紀地層の炭素同位体比から推定される酸素量変化. 田畑美幸・澤木佑介・戎崎俊一・吉田尚弘・上野雄一郎・小宮 剛・丸山茂徳	17:15 R14-O-22 IODP Expedition 338 速報. 金川久一・Dugan Brandon・Moore Gregory・Strasser Michael・Toczko Sean・前田玲奈・IODP Expedition 338 Scientists
		17:30 R23-O-12 エディアカラ紀-カンブリア紀前期の海中酸素濃度上昇時の有機物の埋没. 山田健太郎・上野雄一郎・吉田尚弘・丸山茂徳	17:30 R14-O-23 南海地震記録器としての孤立閉鎖斜面海盆. 岩井雅夫・松岡裕美・岡村 眞・小林宗誠・池原 実・富士原敏也・山田泰広
		17:45 R23-O-13 日本語での正しい年代層序・地質年代の表し方. 鈴木寿志	17:45 R14-O-24 沈み込み帯の深度2-4kmにおける変形と歪硬化. 山本由弦・林 為人・濱田洋平・千代延 俊・福山繭子・亀田 純

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。

※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。

日本地質学会第120年学術大会（2013 仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月15日（日）午後

会場	会場2 (C200)	会場3 (B201)	会場4 (B203)
	R4. 変成岩とテクトニクス	R24. 原子力と地質科学	R3. 噴火・火山発達史
	座長：曾田祐介 (12-15), 桑谷 立 (16-19), 岡本 敦 (20-24)	座長：吉田英一 (1-4), 渡部芳夫 (5-8), 梅田浩司 (9-12)	座長：和田穰隆 (1-4), 小林哲夫 (5-8)
14:30	14:30 R4-O-12 流体相変化に伴うシリカの沈殿挙動と鉱物脈形成. 山田 稜 ・岡本 敦・最首花恵・中村美千彦・奥村 聡・佐々木理・土屋範芳	14:30 R24-O-1 (招待)★ 地層処分の安全性における地質環境の安定性とは. 枋山 修	14:30 R3-O-1 (招待)★ プロキシマル火山地質学のすすめ. 高橋正樹
	14:45 R4-O-13 熱水対流域-熱伝導域境界におけるシリカ鉱物析出反応. 最首花恵 ・岡本 敦・土屋範芳	15:00 R24-O-2 概要調査段階における地質環境調査の役割と課題. 出口 朗	15:00 R3-O-2 大規模カルデラ噴火に先行する噴火現象から推定される噴火直前のマグマ供給系. 小林哲夫 ・西村光史
	15:00 R4-O-14 沈み込み帯の温度構造-マントルウェッジの加水軟化と蛇紋岩化の効果. 石井和彦	15:15 R24-O-3 ストーリーボードを用いた天然事象の確率論的影響評価手法-ITM-TOPAZ手法の適用-. 河村秀紀 ・後藤淳一・Chapman Neil	15:15 R3-O-3 東北日本弧北端の第四紀火山活動の時空変遷: 活動年代の再検討とマグマ組成. 中川光弘 ・松本亜希子・島谷太郎・小杉安由美
	15:15 R4-O-15 ウェッジマントル内のマントル流動~地震波異方性モデリングが示すアンチゴライトの分布-. 永治方敬 ・ウォーカー アンドリュウ・ウッキー ジェームズ・ケンダル マイケル・ウォリス サイモン	15:30 R24-O-4 超長期の火山活動の確率論的評価手法の検討-火山フロントが不明瞭な地域への適用例-. 後藤淳一 ・西尾 光・河村秀紀・Chapman Neil A.	15:30 R3-O-4 歴史時代の蔵王火山の噴火史とその様式 - 歴史記録と比較火山学に基づく復元-. 及川輝樹 ・伴 雅雄
	15:30 R4-O-16 シリカ付加によるアンチゴライト蛇紋岩化過程. 曾田祐介 ・横山寛紀・水上知行	15:45 R24-O-5 長期安全性を評価する際の地質断層再活動における将来予測での不確実性について. 大坪 誠 ・宮川歩夢・勝部亜矢	15:45 R3-O-5 阿武隈高地縁辺部に分布する鮮新世の火砕流堆積物. 斎藤はるか ・鈴木毅彦
	16:00 R4-O-17 日本の沈み込み帯におけるゆっくり滑りとマントルウェッジ蛇紋岩の深さ分布. 水上知行 ・平松良浩	16:00 R24-O-6 断層の物質移動に関する性状とバリア機能について. 吉田英一	16:00 R3-O-6 近畿地方, 後期白亜紀相生層群, 有馬層群, 湖東流紋岩類カルデラ源大規模火砕流堆積物のジルコンU-Pb年代. 佐藤大介 ・松浦浩久・檀原 徹・岩野英樹・平田岳史
	16:00 R4-O-18 Vp 異方性によるかんらん石ファブリックのタイプ分けと海洋リソスフェアへの応用. 道林克禎 ・尾上 彩	16:30 R24-O-7 断層の水理特性の調査・評価手法の開発-カリフォルニア州バークレーでの実証研究-. 吉村公孝 ・後藤淳一・唐崎建二・木方建造	16:15 R3-O-7 和歌山県串本町, 橋杭岩脈の表面構造. 和田穰隆 ・南川実咲
	16:15 R4-O-19 (招待)★ スロー地震: 高間隙水圧下にある断層のゆっくり破壊. 伊藤喜宏	16:30 R24-O-8 高速増殖原型炉もんじゅ敷地内破碎帯等の追加地質調査の概要について. 石丸恒存 ・島田耕史・丹羽正和・安江健一・立石 良・池田真輝典・梅田浩司	16:30 R3-O-8 (招待)★ 噴火予測と噴火シナリオ. 中田節也
	16:45 R4-O-20 ウェッジマントルにおけるリーゼガングダイナミクス. 鳥海光弘 ・福山蘭子	16:45 R24-O-9 堆積岩中の割れ目形態・充填鉱物の性状とその生成過程に関する研究. 大野卓也 ・吉田英一・西園幸久・大嶋章浩	
	17:00 R4-O-21★ 数値モデルによるマントルドポーフィロクラストの再現: 単純剪断下でのポーフィロクラストの回転非回転の変化による影響. 松村太郎次郎 ・増田俊明	17:00 R24-O-10 堆積岩における原位置水理・トレーサー試験結果に基づく割れ目面内の不均質性の検討. 横田秀晴 ・田中真悟・本島貴之	
	17:15 R4-O-22 カオリン粘土のひび割れ破壊に関する考察. 佐野郁雄	17:15 R24-O-11 瑞浪超深地層研究所における割れ目の形成過程からみた地質環境の長期変化. 笹尾英嗣 ・石橋正祐紀	
	17:30 R4-O-23 岩石学へのデータ駆動型アプローチ. 桑谷 立 ・永田賢二・岡田真人・鳥海光弘	17:30 R24-O-12 東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い放出された放射性セシウムの山地森林-河川-ダム湖における移動挙動. 新里忠史 ・大山卓也・舟木泰智	
	17:45 R4-O-24 高圧型周防変成岩の白亜紀高温型変成岩への転化と熱モデル及び形成深度. 宮崎一博 ・斎藤 真・檀原 徹・岩野英樹・平田岳史		

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。

日本地質学会第120年学術大会（2013 仙台大会）講演プログラム（口頭）

■ 9月15日（日）午後

会場	会場5 (B204)	
	R7. 地域間層序対比と年代層序スケール	
	座長：岡田 誠 (1-3), 里口保文 (4-6)	
14:30	14:30 山城丘陵から検出されたMsn-Jwg4テフラ. 夫・石田志朗	R7-O-1 里口保文・池田俊夫・石田志朗
	14:45 三重県亀山地域に分布する東海層群のガウス-松山古地磁気極性境界. 平・津村善博・小竹一之・森 勇一	R7-O-2 星 博幸・服部憲児・田中里志・宇佐美徹・中川良平・津村善博・小竹一之・森 勇一
	15:00 中央日本に分布する新第三紀/第四紀境界層準のテフラ編年と給源火山地域の推定. 匠摩・吉川卓寿	R7-O-3 田村糸子・山崎晴雄
	15:15 安房層群安野層上部における古地磁気層序. 匠摩・吉川卓寿	R7-O-4 岡田 誠・海鋒
	15:30 岩手県一関地域に分布する中部中新統の浮遊性有孔虫群集と古海洋. 林 広樹・丸岡俊樹・大平寛人	R7-O-5 林 広樹・丸岡俊樹・大平寛人
	15:45 上部白亜系久慈層群の炭素同位体比層序と地質年代. 太・高嶋礼詩・西 弘嗣・山中寿朗・秋山文孝	R7-O-6 條 将太・高嶋礼詩・西 弘嗣・山中寿朗・秋山文孝
	R5. 地域地質・地域層序	
	座長：松原典孝 (1-4), 松浦浩久 (5-7)	
16:15	16:15 種子島における四万十帯の帰属と大構造. 平・向吉秀樹	R5-O-1 山本由弦・濱田洋平・向吉秀樹
	16:30 基盤構造の再解釈に基づく筑豊型構造の再定義. 16:45 房総半島北部3次元地質モデルにおける下総層群の層序. 17:00 関東平野中央部「大宮」「野田」地域における更新統下総層群木下層の谷埋め堆積物の特徴と形成過程. 17:15 阿仁合植物群及び打当植物群の年代とその地質学的意義. 17:30 南部北上山地, 氷上花崗岩類のジルコン U-Pb年代の再検討. 17:45 北東北脊梁山地の基盤花崗岩類について.	R5-O-2 尾崎正紀 R5-O-3 中里裕臣・野々垣 進・中澤 努 R5-O-4 中澤 努・坂田健太郎・納谷友規・長 郁夫・中里裕臣 R5-O-5 鹿野和彦・大口健志・植村和彦・小笠原憲四郎 R5-O-6 藤本幸雄

会場	会場7 (B104)	
	R12. 石油・石炭地質学と有機地球化学	
	座長：大久保 進 (11-13)	
14:30	14:30 伊豆南部下田周辺の白浜石灰岩の岩相および続成作用の特徴について-油ガス貯留岩の見地からの考察- 崇・柳本 裕	R12-O-11 八木正彦・島津崇・柳本 裕
	14:45 海底自然堤防形態の定量的解析: その貯留岩キャラクタリゼーションへの応用の可能性. 15:00 前期中新世における常磐沖堆積盆地の埋積過程: 坑井物理検層サイクル解析に基づく層序学的枠組みを踏まえた検討. 之・保柳康一・古内 薫・小林由季・関 めぐみ・中村めぐみ	R12-O-12 中嶋 健・Kneller Benjamin C. R12-O-13 荒戸裕之・保柳康一・古内 薫・小林由季・関 めぐみ・中村めぐみ
	R9. 堆積物(岩)の起源・組織・組成	
	座長：太田 亨 (1-5), 河尻清和 (6-11)	
	15:15 カソードルミネッセンスおよびX線分析(EDS)イメージングの石英質砂岩埋没続成への適用: 特に堆積組織と石英セメンテーションの関連性について. 15:30 温泉水化学組成からみた東北地方北部域における炭酸塩団塊の生成環境. 15:45 北九州市平尾台千仏鍾乳洞の洞口付近でみられる生物誘導鉱化作用. 16:00 デジタル画像解析法を用いた新しい粒度分析の現状と課題<テクニカルレビュー>. 16:15 Image Jを用いた新しい円磨度指標Rの提案: アスペクト比によるCircularityの補正. 16:30 楕円フーリエ解析を用いた碎屑物粒形の定量方法と堆積場判別方法の提示. 16:45 富山県北東部下部白亜系手取層群の礫組成と碎屑性ジルコン年代分布からみた堆積盆の発達. 17:00 ルーフィングは砂岩組成にどのような影響を与えるか? -紀伊半島四万十帯白亜系寺袖層を例として- 17:15 東アジア大陸における白亜紀大陸地殻風化度: 海洋無酸素事変と風化度増大の関係性. 17:30 モンゴル南東部白亜系湖成層における鉱物・全岩化学組成を用いた湖水面および古気温変動の解読. 17:45 オマーン山地に分布する下部三疊系石灰岩の微量元素組成.	R9-O-1 松井良一 R9-O-2 谷口敦行・箕浦幸治 R9-O-3 鮎沢 潤 R9-O-4 七山 太・古川竜太 R9-O-5 高清水康博 R9-O-6 鈴木慶太・藤原 統・太田 亨 R9-O-7 竹内 誠・川原健太郎・富田 覚 R9-O-8 別所孝範 R9-O-9 太田 亨・上形由布子 R9-O-10 新谷広紀・太田 亨 R9-O-11 吉田孝紀・志賀由佳・西尾真由子・葉田野 希・足立佳子

■ MEMO ■

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や著者氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。太字は代表発表者です。 ※★印は、ハイライトです、本誌 p. (11) を参照。